

2 予算の執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収益的収入は、予算現額459億5,400万円に対して決算額459億9,744万円（執行率100.1%）で4,344万円の増となっている。主な内訳をみると、予算に比べ給水収益が2億4,558万円減少している一方で、固定資産売却益が2億3,363万円、補償金が4,892万円、それぞれ予算に比べ増加している。

収益的支出は、予算現額368億7,900万円に対して決算額350億4,907万円（執行率95.0%）であり、3,935万円を翌年度へ繰り越し、不用額は17億9,056万円となっている。その主な内訳は、委託料、動力費、請負工事費、修繕費、薬品費である。

(2) 資本的収入及び支出

資本的収入は、予算現額66億9,300万円に対して決算額36億9,602万円（執行率55.2%）で29億9,697万円の減となっている。これは建設改良費の減少により、その財源となる企業債が減少したことによるものである。

資本的支出は、予算現額262億4,000万円に対して決算額236億9,778万円（執行率90.3%）であり、3億3,513万円を翌年度へ繰り越し、不用額は22億707万円となっている。

建設改良費の執行額は169億3,577万円で、内訳は次のとおりである。

・ 施設整備事業	142億3,475万円
導水施設	豊平川水道水源水質保全取水堰新設工事 等
浄水施設	西野浄水場ほか耐震改修工事 等
配水施設	平岸配水池水力発電施設新築工事 等
配水管布設	管布設延長73.9km（里塚配水池流入管耐震化工事、屯田地区配水管整備工事、厚別中央地区配水管更新工事、厚別区ブロック配水管耐震化工事 等）
・ 固定資産取得	27億102万円
	無線式メーター購入、白川第2送水管豊平川横断部護床連結ブロック整備工事その1、白川第1浄水場高圧配電設備更新工事、白川浄水場ITV設備更新工事 等

企業債償還金は、65億4,917万円で、資本的支出の27.6%を占めている。

資本的支出236億9,778万円の財源については、企業債20億円、出資金3億282万円、固定資産売却代金1億3,348万円、補助金1億7,931万円、加入金8億2,965万円、負担金2億5,073万円で充当し、不足する額200億176万円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額12億2,823万円、建設改良積立金96億6,798万円、過年度分損益勘定留保資金9億3,372万円及び当年度分損益勘定留保資金81億7,182万円で補填されている。